

## IgM 陽性形質細胞浸潤が主体の尿細管間質性腎炎患者の免疫組織学的解析と臨床的特徴の検討（腎臓から全身まで）

### 1. 研究の対象

1985 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に当院で腎生検が施行され、間質にリンパ球浸潤を少しでも認めた方

### 2. 研究目的・方法

血中 IgM が高値で、腎生検で IgMPC-TIN※ 疑いがある患者さんの腎生検標本を代表機関へ送付し、詳細な免疫組織学的解析と臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。

※IgMPC-TIN：免疫グロブリン M 陽性形質細胞が主体の「尿細管間質性腎炎」を指します。

研究期間：承認日～2026 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、合併症、既往歴、併用薬／併用療法、血液生化学検査、尿検査 など

試料：腎生検で摘出した残余組織

### 4. 外部への試料・情報の提供

代表機関である福井大学医学部附属病院腎臓内科へのデータと組織の提供は、特定の関係者がアクセスできない状態で行います。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究代表機関

福井大学医学部附属病院 腎臓内科 助教 高橋直生

住所：〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

TEL：0776-61-8478

共同研究機関

奈良県立医科大学

慶應義塾大学 など 全国 30 施設以上

既存試料・情報の提供のみを行う機関

福井赤十字病院

川崎市立川崎病院 など 全国 7 施設以上

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

川崎市立川崎病院 腎臓内科 副医長

川口 隆久

住所：川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521(代)

-----以上